

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名	都市計画道路 <small>やがまどころ</small> 矢賀間所線		事業区分	街路事業	事業主体	広島市
起終点	自：広島市 <small>ひがし やが</small> 東区矢賀五丁目 至：広島市 <small>ひがし めくしな</small> 東区温品一丁目		延長	0.65km		
事業概要	<p>都市計画道路・矢賀間所線は、広島市のデルタ市街地周辺の東部地区において、道路ネットワークの強化や沿道の良好な市街地形成を図る幹線道路であり、かつ広島都市圏の自動車専用道路ネットワークを形成する広島高速2号線の導入空間として機能する平面街路である。</p> <p>本事業の内容は現道を拡幅するものであり、現況4車線で供用中であるが、道路ネットワークの強化や高速2号線の導入空間の確保等のため、当該路線の整備を推進している。</p>					
H8年度事業化	S38年度都市計画決定 (H13年度最終変更)	H9年度用地着手	H13年度工事着手			
全体事業費	88億円	事業進捗率	96%	供用済延長	0.00km	
計画交通量	26,800台/日 (H42)					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 32.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 2.4/61.9円 事業費：1.9/61.4億円 維持管理費：0.5/0.5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 79.1/79.1億円 走行時間短縮便益：77.1/77.1億円 走行費用減少便益：1.9/1.9億円 交通事故減少便益：0.1/0.1億円	基準年	平成17年	
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=34.5 (交通量+10%) B/C=31.4 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=30.3 (事業費+10%) B/C=35.4 (事業費-10%)</p>					
事業の効果等	<p>円滑なモビリティの確保（路線バス、広島空港への高速リムジンバスが運行されておりバスの利便性が向上） 安全な生活環境の確保（通学路である路線で幅広の歩道を整備） 災害への備え（緊急輸送道路の整備促進） 他のプロジェクトとの関係（広島高速2号線の導入空間となる平面街路を整備） 他4項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	(特筆する事項なし)					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	(特筆する事項なし)					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>用地買収計画件数69件はすべて完了（平成16年度末）しており、4車線での供用を図りながら、今後も広島都市高速2号線の整備と歩調を合わせ、道路改良などの工事を進めていく。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>何人かの地権者による事業への反対があったことや事業協力者においても大規模な補償物件に関する補償内容の検討及び移転先の調整などにより、用地交渉に日時を要したとともに、関連する広島高速2号線の整備時期が遅れたことにより、事業進捗が遅れが生じている。</p>					
施設の構造や工法の変更等	(特筆する事項なし)					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の理由を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。